

20、30年先の未来を見据えた学校施設の整備

- 学校は、地域の誰もが学び、活用する場であるという視点に立ち、ユニバーサルデザインの採用をはじめ、人に優しい施設として整備していくことが極めて重要
- 子供たちが未来を切り拓くために必要な資質・能力（コミュニケーション、批判的思考、協力、独創性等）を身に付けていけるよう、効果的な活動が展開できる学習環境の計画が必要
- これからの学校施設には、ICT活用や「主体的・対話的で深い学び」をはじめ、新たな学びに柔軟に対応できるよう、フレキシブルな施設利用を可能とする計画が必要
- 教育効果を高めるためには、機能面での充実だけでなく、「学び心地」「教え心地」といった面での満足度を高めるアプローチも必要
- 少子高齢化の進行の中、地域の拠点である学校施設を他の施設と複合して整備することにより、地域の連携・協働活動の拠点として位置付けるといった視点も有効

短・中期的な課題に対応した学校施設の整備

学習指導要領改訂等への対応

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学習環境の整備
 - －多目的スペースやICT教育に対応したスペースの充実など、能動的（アクティブ）に学べる学習環境の整備
 - －教室と図書室との近接による深い学び学習への対応
 - －外国語教育を効果的に実施するための空間の確保
 - －学校間、異学年間の連携・交流を促す環境の整備
- 「チームとしての学校」の実現に向けた施設環境の整備
 - －教員が子供と向き合う時間的・精神的な余裕を確保できるような快適で機能的なワークスペースに転換
 - －教職員間の協働、外部専門家・地域住民等との連携、情報管理等の観点から、機能連携・分化を考慮した管理諸室の整備
- インクルーシブ教育システムの構築に向けた施設環境の整備
 - －障害者差別解消法が求める合理的な配慮への対応
 - －各校種ごとに求められるバリアフリー化の更なる推進
- ICTを活用できる施設環境の整備
 - －無線LANなど、空間の制約を超えて活用できる特性を発揮できるような施設環境の整備
 - －従来の教室空間とは異なる、ICTに適した室内環境（照明、内装、家具、電源等）の整備

学校施設の諸課題への対応

- 教育面や安全面、機能面を改善する老朽化対策の推進
 - －安全性を確保する観点からの老朽化対策の推進
 - －空調、トイレ整備など、劣悪な施設環境の解消による健康的な施設環境の確保
 - －音、温熱環境など、室内の基本性能の確保
 - －定期的な点検の実施、計画的な維持管理の実施
- 環境に配慮した学校施設の整備
 - －省エネルギー、省CO₂など、エコスクールの更なる推進
 - －良好な学習環境を確保するための施設計画上の配慮（南側教室の見直し、採光上の工夫等）
- 避難所としての防災機能の強化
 - －児童生徒に加え、地域住民の避難所として求められる防災機能の確保
 - －各校種ごとに求められる防災機能強化の更なる推進
- 少子高齢化に対応した学校施設の整備
 - －地域の拠点施設としての複合的な整備
 - －地域ストックの有効活用の観点から、他の公共施設との共用化、相互利用の推進
 - －まちづくりの視点から、数十年単位での地域の施設ニーズを見据えた学校施設の整備

「今後の学校施設の在り方に関する方向性」の実現に向けての方策案

・学校施設整備指針の改訂 ・計画・設計段階における対話型のプロセス導入 ・官民連携の推進 ・多様な財源活用の推進 ・効果的な空間活用事例の収集・発信 等